

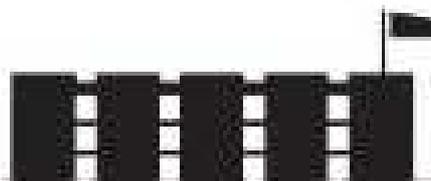
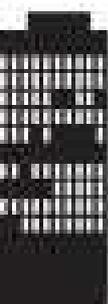


人と人のつながりと地域社会

— コミュニケーションについて考える —



第4期（平成21・22年度）
宇治市生涯学習審議会



第4期（平成21・22年度）生涯学習審議会報告書目次

人と人のつながりと地域社会 - コミュニケーションについて考える -

A . はじめに	1
B . アンケート結果と考察	3
C . 提案	11
資料編	13
アンケート調査協力をお願い	14
アンケート集計結果	17
会議開催経過	36
委員名簿	37

第4期（平成21・22年度）

宇治市生涯学習審議会 報告書

テーマ：人と人のつながりと地域社会
- コミュニケーションについて考える -

A. はじめに

近年、人間関係が希薄になっているといわれる。

厚生労働省が出した「2009年国民生活基礎調査」によれば、日本全土で独居老人は465万人、65歳以上のみの高齢者世帯数は、962万3千世帯だという。これは、全世帯の20%を占め、独居高齢者率は、48.2%（男性13.4%、女性34.8%）に当たるという。認知症・うつ・ひきこもり・対人関係障害等の問題を抱えた人や、独居の成人も増加している。

一方、警察庁生活安全局生活安全企画課報告の「平成21年中における自殺の概要資料」によれば、2009年の日本の自殺率は、10万人中25.8人(32,845人)で、これは、米国の2倍、G8・OECD加盟国中1位で、全世界4位だという。我が国の20～30代の死因トップが自殺で、同年交通事故者数4,914人の6.7倍に相当するという。

近年、携帯電話やインターネットのようなパーソナル・メディアが急速に普及し、個人と個人をつなぐことは、極めて容易になったように見える。ところが、一方で、その普及と反比例するように、対面での人間関係に問題を抱える若者が増加しつつあるようで、社会生活を始めて間もない3年未満で会社を辞める若者が増加しているとの報告もある。ついには、ネット上の書き込みから無関係な複数の人を殺傷する事件までもが引き起こされるに至っている。このような数字や事件は、今この国の人間関係が抱えている構造的な問題の一端を示しているのではないだろうか。

そんな折りの2011年3月11日午後2時46分に東北地方太平洋沖で起きたマグニチュード9.0を記録する地震は、自然の猛威の凄さと人間の微力さを思い知らされる災害だったが、一方で人間の助け合う力、地域の連帯力、人と人のつながりの重要性をも再確認させられる出来事でもあった。

これらのデータや出来事からは、私たちがいかに社会的な存在であり、社会とうまく関われないとどのような問題を惹起するかということ、人間集団が大きな問題を抱えたとき、人と人とのつながりがいかに大切で、その実感がどれほどの力を発揮するか、というようなことを示唆しているように思える。

このように、人と人が出会い、結びつき、つながりを深め、維持していくのに、私たちのコミュニケーション能力が極めて重要であることに異論はないであろうが、問題は、その「コミュニケーション能力」ということばが何を意味しているか、その実体が決して明瞭ではないために、希薄化する人間関係をどのように再構築すればよいか分かり辛いことではないだろうか。

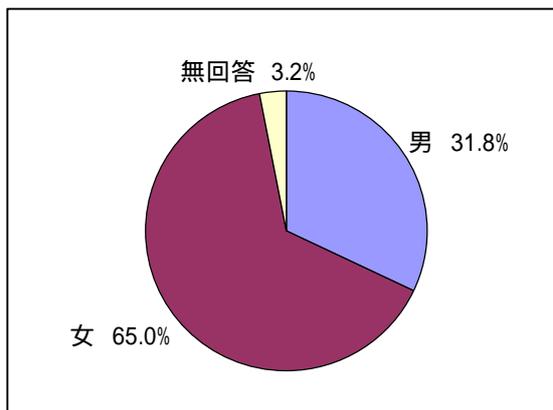
そこで、第4期の審議会では、「コミュニケーション」をキーワードに、「人と人のつながりと地域社会」をテーマとして議論を深めてきた。報告書をまとめるにあたり、コミュニケーションについてのアンケートを作成し、各委員の周辺の人たちの協力を得て調査を実施、その分析結果を付記することとした。議論を重ねた審議会メンバーの「コミュニケーション理解」は、それなりに深まったように思うが、アンケート結果から見える一般の「コミュニケーション理解」をより深いものに育て、よりよい人間関係・地域関係へ導くには、各委員の深まったこの「コミュニケーション理解」をどう活用していけばよいのか、さらなる議論が必要であろう。

B. アンケート結果と考察

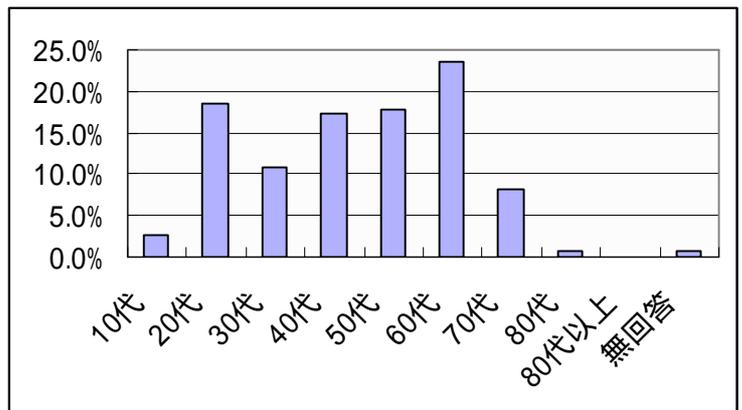
アンケートに答えて頂いた方々は、男性 50 名・女性 102 名（無回答 5 名）で、年齢は 60 歳代が 23.6%と最も多く、次いで 20 歳代（18.5%）、50 歳代（17.8%）、40 歳代（17.2%）という具合である。

性別比・年齢分布に偏りはあるが、本アンケート集計結果に特に問題はないように思う。回答を、順を追って見ていく。

性別

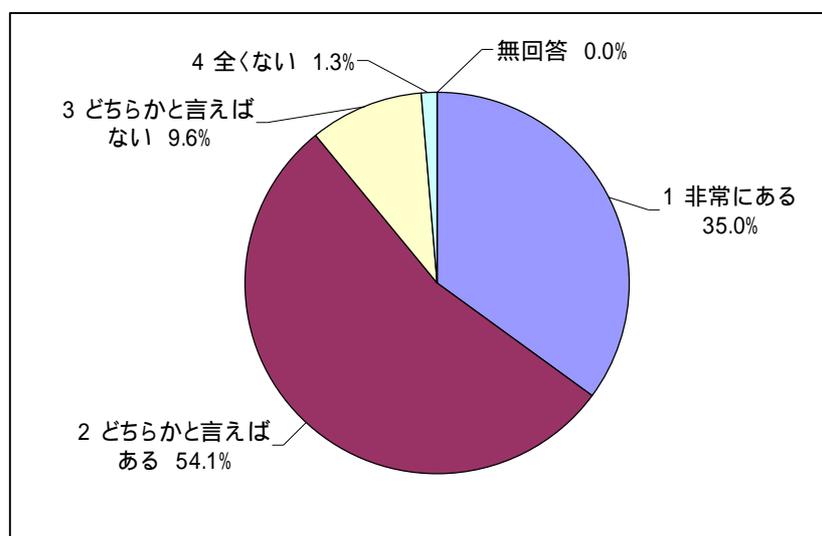


年齢



1. コミュニケーションに関心はあるか？

「非常にある（35.0%）」と「どちらかと言えばある（54.1%）」を合わせて 89.1%で、「どちらかと言えばない（9.6%）」と「全くない（1.3%）」の合計 10.9%と好対照である。回答頂いた多数が関心を示している。

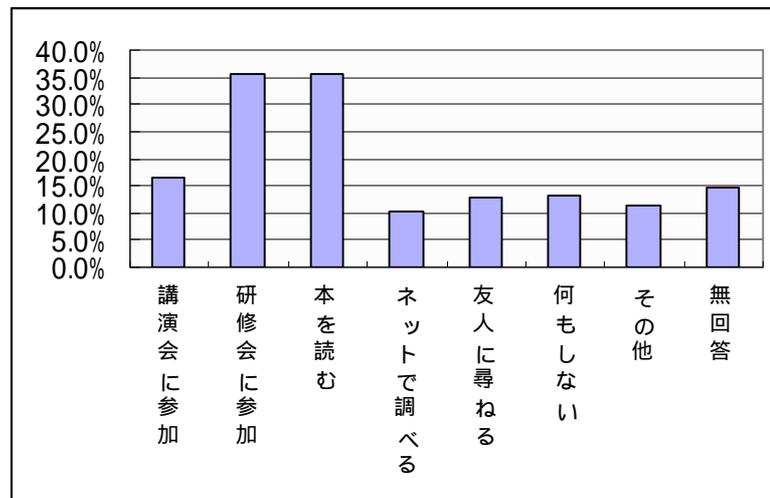


2. 関心をもつようになったのは、なぜ？（記述式）

「不足が問題を引き起こす」「人間関係に不可欠」「仕事上」「子どもを通して」「苦手」等きまじめな答えや問題を抱えたことが関心と呼んだとする答えがある一方で、「楽しい」「人が好き」「話が好き」「大切」「自然に」等ごく自然体で他者や関係に興味・関心をもっている姿もみえる。

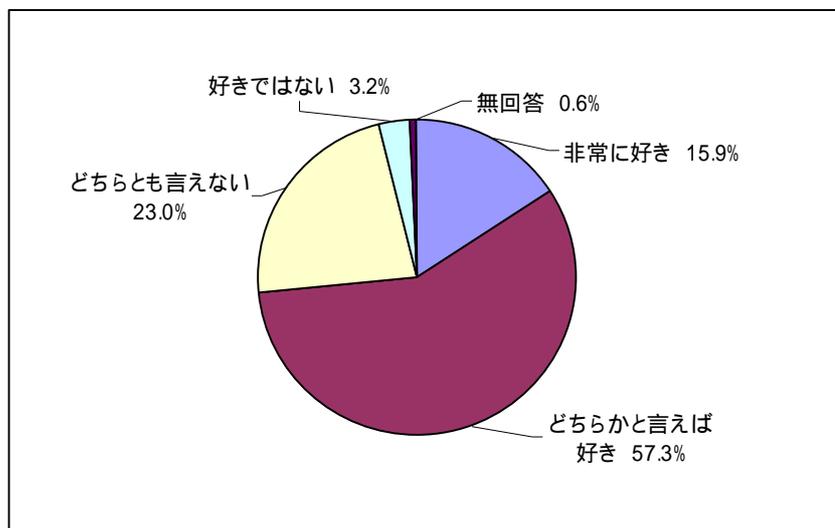
3. コミュニケーションについて知るために、どうしたか？（複数選択）

「本を読む（35.7%）」「研修会に参加（35.7%）」「講演会に参加（16.6%）」「ネットで調べる（10.2%）」「友人に尋ねる（12.7%）」という行動派がいる一方で、「何もしない」という人も13.4%いる。



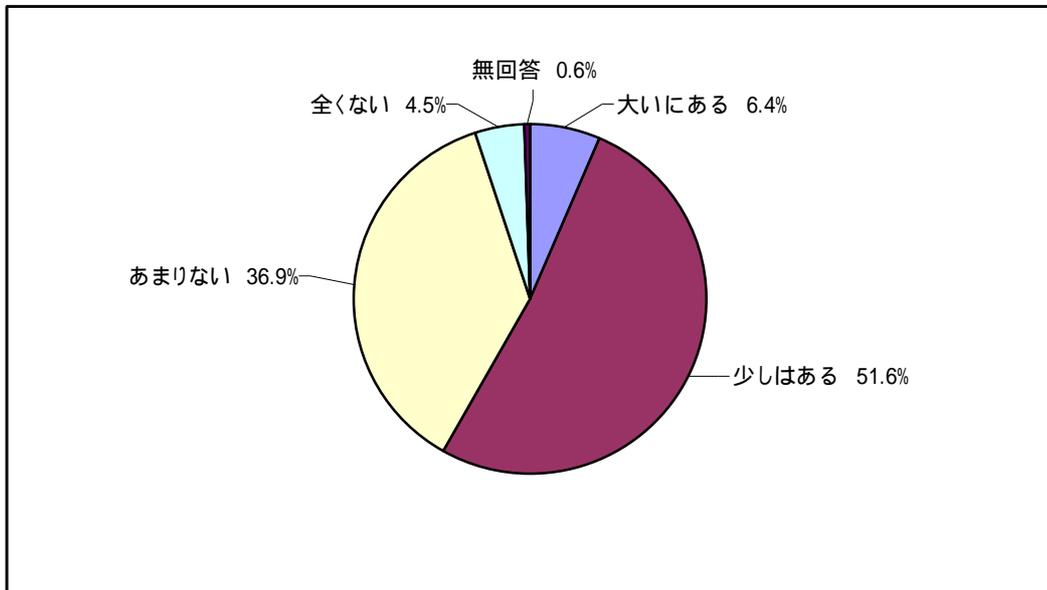
4. コミュニケーションは好きか？

「非常に好き（15.9%）」と「どちらかと言えば好き（57.3%）」を合わせて73.2%で、「どちらとも言えない（23.0%）」と「好きではない（3.2%）」の合計26.2%と対照的である。ただ、この対照に関しては、回答者の男女比が1対2と、女性が男性の2倍であることも考慮する必要があるだろう。



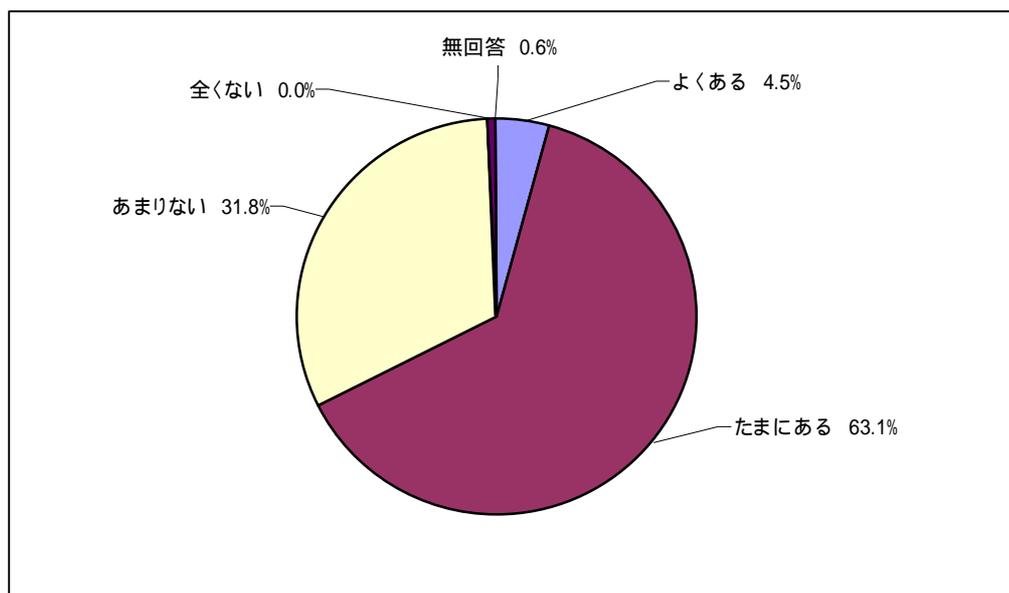
5. コミュニケーションに自信があるか？

「大いにある(6.4%)」と「少しはある(51.6%)」を合わせて58%に対して、「あまりない(36.9%)」と「全くない(4.5%)」の合計41.4%と有意な差はみられない。



6. 相手のコミュニケーションのとり方に不快を感じたことは？

「よくある(4.5%)」と「たまにある(63.1%)」を合わせて67.6%で、「あまりない(31.8%)」と「全くない(0%)」の合計31.8%と対照的である。「全くない」の回答者が一人もいないことに注目する必要があるだろう。

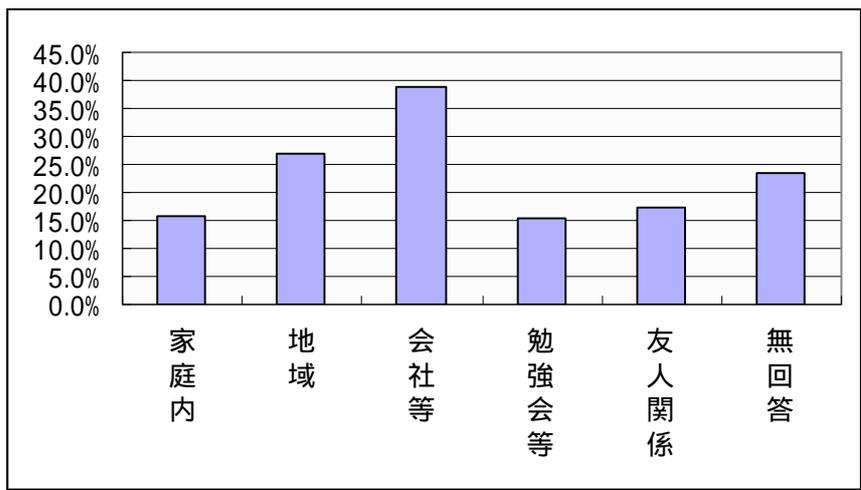


7. **どんなときに不快を？ (記述式)**

「伝える意思がない」「トゲのある発言」「うそ」「差別的」等さまざまあるが、「自己中心的」「一方的」「高圧的」等、自分を押しつけるだけで耳を貸さない態度への不快感が特に目立つ。

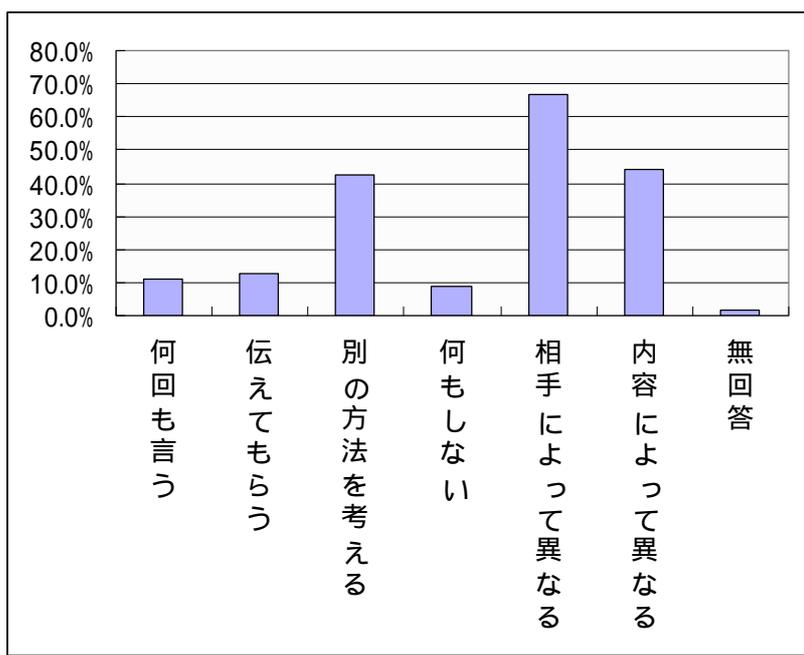
8. **うまくいかないのは？ (複数選択)**

「会社等(38.9%)」「地域(26.8%)」「友人関係(17.2%)」「家庭内(15.9%)」「勉強会等(15.3%)」の順で、無回答も23.6%あった。



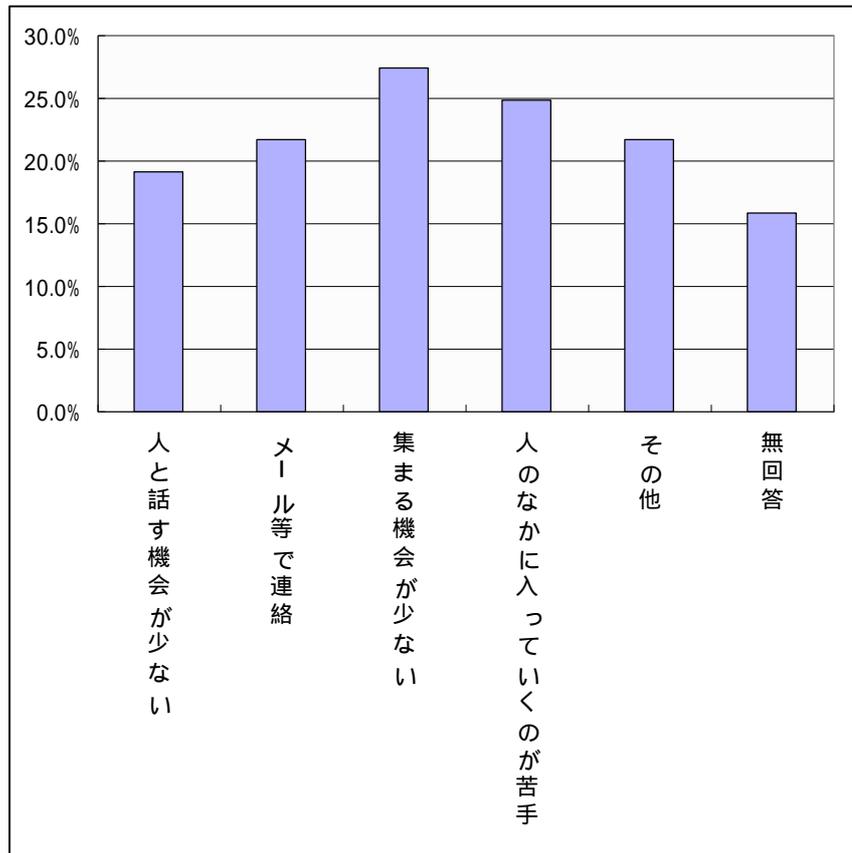
9. **うまくいかないとき、どうする？ (複数選択)**

「相手によって異なる(66.9%)」が最も多く、「内容によって異なる(43.9%)」と「別の方法を考える(42.7%)」がほぼ同率である。次いで、「伝えてもらう(12.7%)」「何回も言う(10.8%)」と続き、「何もしない」は8.9%に過ぎず、多くが何とかしたいと思っている様子が窺える。



10. うまくいかない理由は？（複数選択）

「集まる機会が少ない(27.4%)」「人の中に入っていくのが苦手(24.8%)」が多いのは分かるが、次に、「メール等で連絡」が21.7%と多いのは、メールが誤解を生みやすい、との認識が一般化していることを示しているようで、興味深い。「その他」が21.7%含まれており、理由が判らない例も多いことを示しているのではないかと推察される。

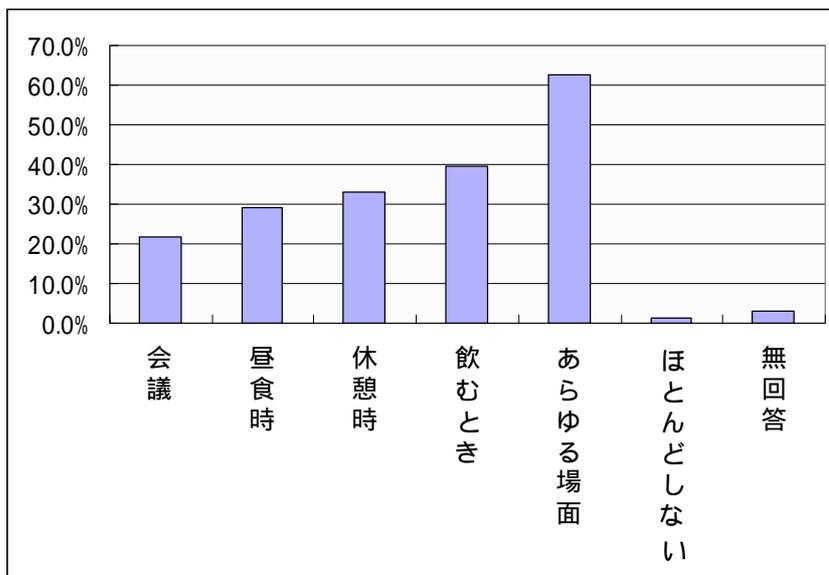


11. 雑談が役立つ例は？（記述式）

「よく話す人とはうまくいく」「互いの考え方に気づく」「信頼が育つ」「情報集めに」「好みや都合」「共通点がみつかる」「別の機会に」等々回答は多様だが、日頃の雑談の必要性に気づいている人が多いことを示している。

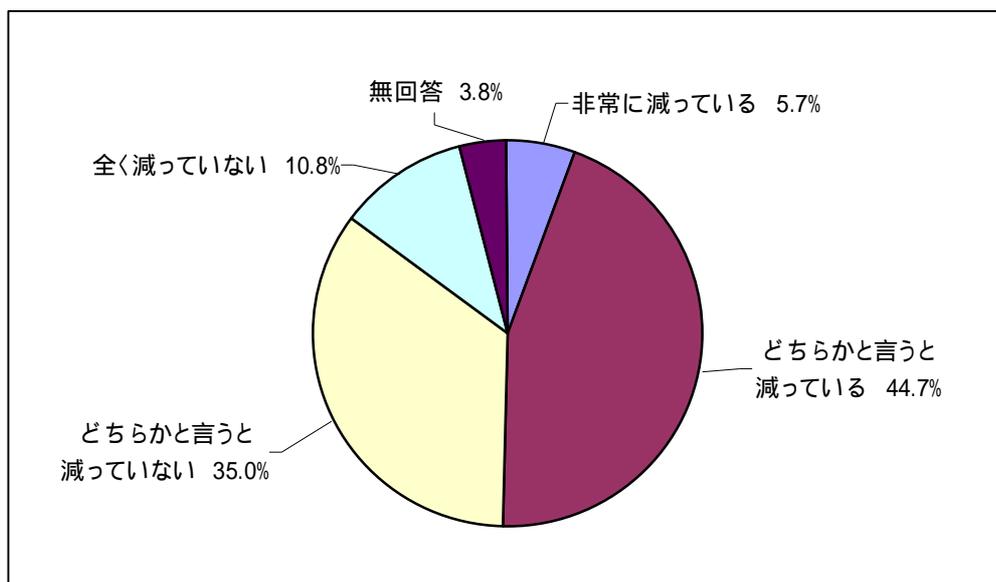
12. どんなときに？（複数選択）

「あらゆる場面（62.4%）」が最も多いのは当然だが、具体的には、「飲むとき（39.5%）」が最も多く、「休憩時（33.1%）」「昼食時（29.3%）」のように寛いでいるときがほぼ30%前後で、活発な発言が求められるはずの「会議」は21.7%に過ぎなかった。コミュニケーションを「ほとんどしない」は1.3%と極めて少ない。



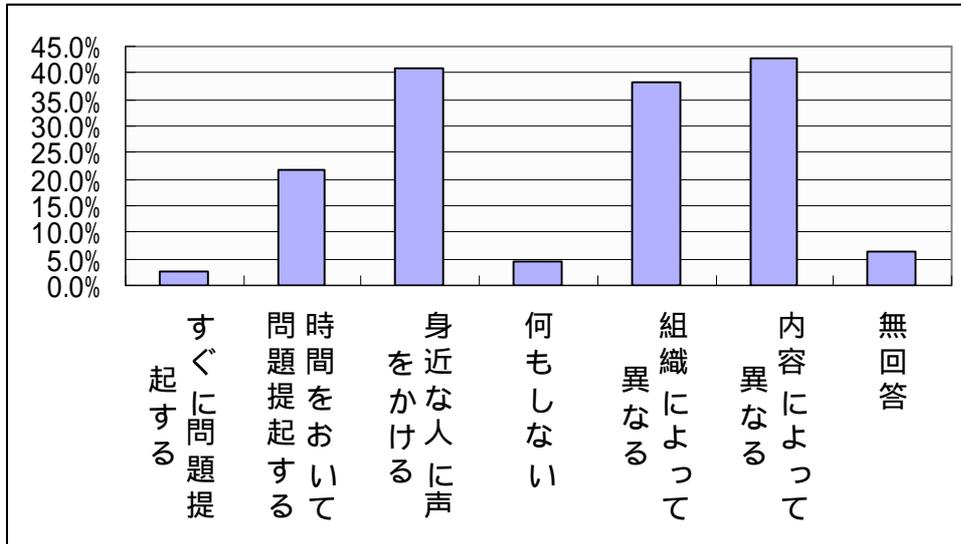
13. 組織内で雑談が減っているか？

「どちらかと言うと減っている（44.7%）」「非常に減っている（5.7%）」を合わせて50.4%であるのに対して、「どちらかと言うと減っていない（35.0%）」「全く減っていない（10.8%）」の合計45.8%は、拮抗している。無回答は3.8%に過ぎなかった。



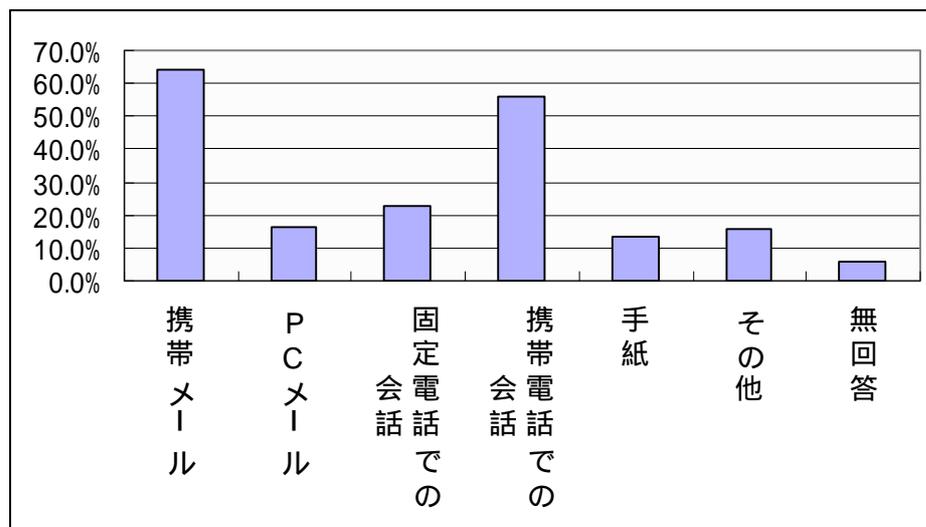
14. 組織内でうまくいかないとき、どうするか？（複数選択）

「内容によって異なる（42.7%）」「組織によって異なる（38.2%）」が多いが、「身近な人に声をかける」が40.8%、次いで、「時間をおいて問題提起する」が21.7%ある。「何もしない」は4.5%に過ぎず、「すぐに問題提起する」は2.5%である。「無回答」は6.4%ある。



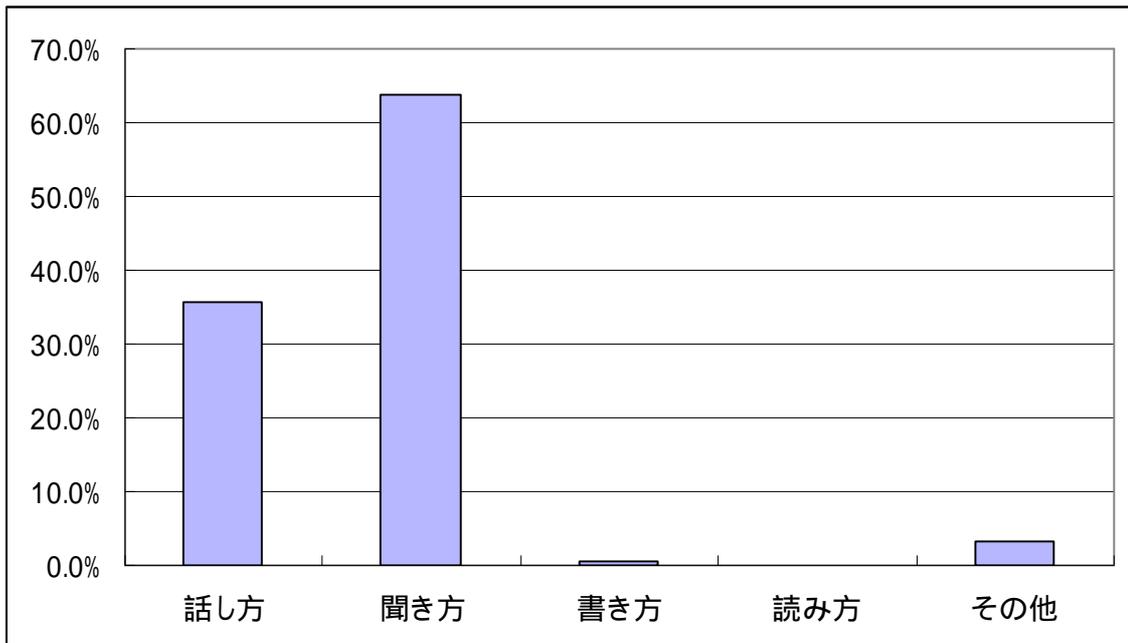
15. よく使うコミュニケーションツールは？（複数選択）

「携帯メール」が64.3%と最も多く、次いで、「携帯電話での会話」が56.1%を占め、「固定電話での会話」の22.9%の倍以上を占めている。「パソコンメール」の16.6%が、「手紙」の13.4%より多いのは、メールの簡便性が一般化した現れと言ってよいのではないか。



16. コミュニケーションに必要な能力は？

「聞き方」をトップにした人が63.7%と最も多い。次いで、「話し方」の35.7%と続く。「書き方」をトップにした人は、僅かに0.6%で、「読み方」については、誰もいなかった。コミュニケーションの場で最も必要な能力が「聞き方」であることに回答者の多くが気づいている。問題は、「聞き方」の能力をどこまで伸ばすことができるか、ということであろう。



17. 心がけていることは？ (記述式)

「思い込みで判断しない」「否定せず聴く」「笑顔で挨拶」「話し方の工夫」「相手を知ろうとする」「話す機会をつくる」「相手の立場になる」「機会を選び情報開示」「目を見て話す」「向き合うことを楽しむ」等々、多くの回答を得た。

C. 提案

ここには、アンケートに答えて頂いた多くが、ご自身のコミュニケーションに関心を持ち、それを何とかよりよいものにしたいと願っておられる様子が見えてくる。しかし、そこで起こっているのは如何なることか、また、そのために私たち一人ひとりがなすべきことは何か、それらは、まだ十分には理解されていない。

私たちが、自ら生涯学習に取り組むにも、社会教育を進めるにも、人間関係のあり方の如何がその成否に大きく影響することは言うまでもない。そこで、まずは、生涯学習（社会教育）に関わる者が心掛けるべきこと（A）～（C）を提案したい。

（A）コミュニケーションについての理解を深めることの重要性を自覚する

今後、審議会としてどのような問題に取り組むときにも、まずは委員自らが自身のコミュニケーションのあり方に自省的であるように努め、人・組織・地域との向き合い方を常に問い直す姿勢で臨みたい。

（B）コミュニケーションに関わる問題について、積極的に発言する

「コミュニケーション不足」「コミュニケーションの重要性」等々の指摘や発言が行われる場面では、その指摘を皮相的な捉え方に留めず、より深い考察に至るように議論を導きたい。

（C）コミュニケーションツールについての誤った対応への啓発に努める

例えば携帯電話や携帯メールの急速な普及が、対面での人間関係によくない影響を及ぼしている、との認識が広まっている。その認識が全くの誤解である、とは言えないにせよ、例えば条例や通達で公立小中学校への携帯電話の持ち込みを規制するなどという行き過ぎた動きについて、より理性的で教育的な対応を求める議論が広汎かつ積極的になされる土壌を醸成していく必要があるだろう。

スマートフォンやタブレット端末等の携帯可能な端末は、今後益々開発され、その普及も加速度的に速まるだろう。ツイッターやフェイスブック、ブログ、SNS、電子掲示板等のウェブアプリケーションも次々に登場するだろう。この方向と勢いを止めることは、もはや不可能だし、意味がないどころか、むしろ、してはならないことだ、と言うべきだろう。

このような時代だからこそ、対面でのコミュニケーションの重要性をより深く、正しく認識し、その認識を踏まえて、私たちがこれらコミュニケーションツールを効果的に使いこなしていける社会環境をどうつくり上げて行くか、が問われているはずだ。

さらに上記を踏まえ、生涯学習（社会教育）に関わる者がなすべき具体的な実践案（1）・（2）

を提示したい。

(1) 地域のなかで人と人をつなぐ役割を

コミュニケーションとは、畢竟、「人と人をどうつないでいくか」という問題だといえるだろう。平成23年9月に京都で初めて開催される第53回全国社会教育研究大会の研究主題は、『「社会的親」の創出による「公共力」の醸成～見て見ぬふりする社会から、おせっかいな社会へ～』である。

このサブテーマに掲げられた「見て見ぬふりする社会」とは、人と人が関わろうとしない社会のことであり、「おせっかいな社会」とは、人と人が積極的につながっていく社会のことである。そこで、例えば地域の中で、ある人とある人がつながっていなければ、そこに我々自らが飛び込んで、つないでいく(=おせっかいやき)という役割を積極的・意図的に担うようにしたい。

(2) 地域の人材の発掘と育成を

さらに、自らが「おせっかい役」を買って出るだけでなく、地域を丹念に見ていくとそうした「おせっかいな人」が出番を断たれていることや、活躍の場を失って埋もれていることも多い。こうした人を発掘し、育てていくことも、我々に課された役割ではないだろうか。

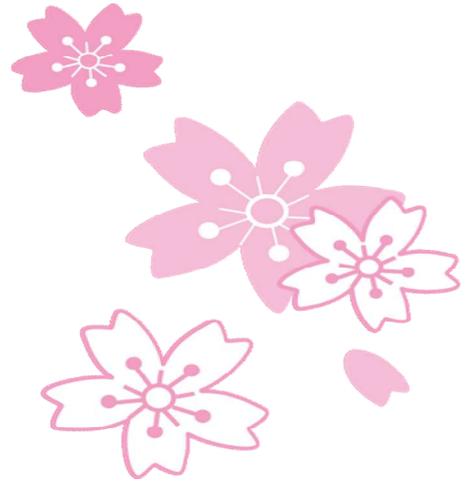
最後に、コミュニケーションへの関心の高さととは裏腹に、隣家の人と全く話をしなくても生活することができる現代社会の中で、私たちがコミュニケーション能力を高めて社会とのつながりを持つためには、より意識的な取り組みが必要な現状にあるとの認識から、宇治市教育委員会には、次の提案をしたい。

ライフステージに応じた各種のコミュニケーション講座の開催を

人と人が積極的につながっていく社会を構築していく上で、何より重要な資質であるコミュニケーション能力を高められるような、ライフステージに応じた各種のコミュニケーション講座の開催を提案したい。

以上、今期の審議会において「コミュニケーション」をキーワードに「人と人のつながりと地域社会」をテーマとして議論を深め、いくつかの提案をさせていただいた。

今後は、まずは本審議会委員がこうしたコミュニケーションに関する留意と実践を積み重ねることにより、「人と人とがつながる = おせっかいな社会」のモデル像を、ここ京都・宇治の地から全国に発信していきたいと考える。



資料編



アンケート調査協力をお願い

趣旨： 第4期 宇治市生涯学習審議会では、種々の団体や組織、あるいは地域等の円滑な運営・発展に活発なコミュニケーションは欠かせないものであるとの観点から、コミュニケーションをテーマに審議を続けてきました。

今期の審議会の報告書をまとめるに当たり、この度、皆様の協力を得て、コミュニケーションに関するアンケートをとらせていただくということになりました。皆様のご協力をよろしくお願い致します。

このアンケートには、正しい答えや望ましい答えがあるわけではありませんので、思ったままをお書きください。また、このアンケートへのご協力は任意のものであります。

このアンケートで得られた結果は、個人的な回答が明らかになることのないよう厳重に管理し、本審議会報告書以外で使用することはありません。

お忙しい中とは存じますが、ご協力のほど、よろしくお願い致します。

ご協力いただける方は、下記にご記入のうえ、次ページ以降の質問にお答えください。

性別：男・女（で囲んでください）

年齢：10代以下・10代・20代・30代・40代・50代・60代・70代・80代・80代以上（で囲んでください）

所属：（ ）お答えいただく立場でお書きください。

コミュニケーションについて、あなたの思うところを教えてください。

1. あなたは日頃、コミュニケーションに関心がありますか？（ひとつ選んで下さい）
非常にある ・ どちらかと言えばある ・ どちらかと言えばない ・ 全くない
2. 非常にある・どちらかと言えばある、を選んだ方に伺います。あなたがコミュニケーションに関心をもつようになったのは、なぜですか？

()

3. 非常にある・どちらかと言えばある、を選んだ方に伺います。コミュニケーションについて知るために、どうしましたか？（複数選んでもかまいません）
講演会に出かけた ・ 研修会に参加した ・ 本を読んだ ・ ネットを調べた ・ 友人に尋ねた
何もしなかった ・ その他()

4. あなたは人とのコミュニケーションが好きですか？（ひとつ選んで下さい）
非常に好き ・ どちらかと言えば好き ・ どちらとも言えない ・ 好きではない

5. あなたは人とのコミュニケーションに自信がありますか？（ひとつ選んで下さい）
大いにある ・ 少しはある ・ あまりない ・ 全くない

6. あなたは相手のコミュニケーションのとり方に不快を感じたことがありますか？（ひとつ選んで下さい）
よくある ・ たまにある ・ あまりない ・ 全くない

7. よくある・たまにある、を選んだ方に伺います。どのようなときに不快を感じましたか？

()

8. 日頃のコミュニケーションでうまくいかないのはどれですか？（複数選んでもかまいません）
家庭内 ・ 地域 ・ 会社等（利害関係の組織）・ 勉強会等（利害に関係しない集団）・ 友人関係
9. コミュニケーションがうまくいかないとき、どうしますか？（複数選んでもかまいません）
何回も言う ・ 誰かに伝えてもらう ・ 分かってもらえる別の方法を考える ・ 何もしない
相手によって対応は異なる ・ 内容によって対応は異なる

アンケート集計結果

設問	選択肢	回答者数	%	チェック
性別	男	50	31.8%	100.0%
	女	102	65.0%	
	無回答	5	3.2%	
年齢	10代	4	2.5%	100.0%
	20代	29	18.5%	
	30代	17	10.8%	
	40代	27	17.2%	
	50代	28	17.9%	
	60代	37	23.6%	
	70代	13	8.3%	
	80代	1	0.6%	
	80代以上	0	0.0%	
	無回答	1	0.6%	
所属	別紙のとおり			
1 コミュニケーションに関心がある？	1 非常にある	55	35.0%	100.0%
	2 どちらかと言えばある	85	54.1%	
	3 どちらかと言えない	15	9.6%	
	4 全くない	2	1.3%	
	無回答	0	0.0%	
2 なぜ？	回答	125	79.6%	100.0%
	無回答	32	20.4%	
3 コミュニケーションを知るためにどうしたか？	講演会に参加	26	16.6%	複数選択
	研修会に参加	56	35.7%	
	本を読む	56	35.7%	
	ネットで調べる	16	10.2%	
	友人に尋ねる	20	12.7%	
	何もしない	21	13.4%	
	その他	18	11.5%	
	無回答	23	14.6%	
4 コミュニケーションは好き？	非常に好き	25	15.9%	100.0%
	どちらかと言えば好き	90	57.3%	
	どちらとも言えない	36	23.0%	
	好きではない	5	3.2%	
	無回答	1	0.6%	
5 コミュニケーションに自信がある？	大いにある	10	6.4%	100.0%
	少しはある	81	51.6%	
	あまりない	58	36.9%	
	全くない	7	4.5%	
	無回答	1	0.6%	

6 相手のコミュニケーションを不快に感じたことがある？	よくある	7	4.5%	100.0%
	たまにある	99	63.1%	
	あまりない	50	31.8%	
	全くない	0	0.0%	
	無回答	1	0.6%	
7 どんなとき？	回答	93	59.2%	100.0%
	無回答	64	40.8%	
8 コミュニケーションで上手くいかないのは？	家庭内	25	15.9%	複数選択
	地域	42	26.8%	
	会社等	61	38.9%	
	勉強会等	24	15.3%	
	友人関係	27	17.2%	
	無回答	37	23.6%	
9 コミュニケーションが上手くいかないときは？	何回も言う	17	10.8%	複数選択
	伝えてもらう	20	12.7%	
	別の方法を考える	67	42.7%	
	何もしない	14	8.9%	
	相手によって異なる	105	66.9%	
	内容によって異なる	69	43.9%	
	無回答	3	1.9%	
10 コミュニケーションがうまくいかない理由は？	人と話す機会が少ない	30	19.1%	複数選択
	メール等で連絡	34	21.7%	
	集まる機会が少ない	43	27.4%	
	人のなかに入っていくのが苦手	39	24.8%	
	その他	34	21.7%	
	無回答	25	15.9%	
11 雑談が役に立ったことはあるか？	回答	75	47.8%	100.0%
無回答	82	52.2%		
12 どんなときにコミュニケーションをとる？	会議	34	21.7%	複数回答
	昼食時	46	29.3%	
	休憩時	52	33.1%	
	飲むとき	62	39.5%	
	あらゆる場面	98	62.4%	
	ほとんどしない	2	1.3%	
	無回答	5	3.2%	
13 組織内で雑談が減っているか？	非常に減っている	9	5.7%	100.0%
	どちらかと言うと減っている	70	44.7%	
	どちらかと言うと減っていない	55	35.0%	
	全く減っていない	17	10.8%	
	無回答	6	3.8%	

14 組織内でコミュニケーションが上手くいかないときは？	すぐに問題提起する	4	2.5%	複数回答
	時間をおいて問題提起する	34	21.7%	
	身近な人に声をかける	64	40.8%	
	何もしない	7	4.5%	
	組織によって異なる	60	38.2%	
	内容によって異なる	67	42.7%	
	無回答	10	6.4%	
15 よく使うコミュニケーションツールは？	携帯メール	101	64.3%	複数回答
	PCメール	26	16.6%	
	固定電話での会話	36	22.9%	
	携帯電話での会話	88	56.1%	
	手紙	21	13.4%	
	その他	25	15.9%	
	無回答	9	5.7%	
16 コミュニケーションに必要な能力は？	話し方	56	35.7%	100.0%
	話し方 2番	87	55.4%	
	話し方 3番	6	3.8%	
	話し方 4番	1	0.6%	
	話し方 5番	0	0.0%	
	空欄	7	4.5%	
	聞き方	100	63.7%	
聞き方 2番	46	29.3%		
聞き方 3番	5	3.2%		
聞き方 4番	0	0.0%		
聞き方 5番	0	0.0%		
空欄	6	3.8%		
書き方	1	0.6%	100.0%	
書き方 2番	3	1.9%		
書き方 3番	51	32.5%		
書き方 4番	60	38.2%		
書き方 5番	24	15.3%		
空欄	18	11.5%		
読み方	0	0.0%		100.0%
読み方 2番	3	1.9%		
読み方 3番	25	15.9%		
読み方 4番	71	45.2%		
読み方 5番	38	24.2%		
空欄	20	12.8%		
その他	5	3.2%	100.0%	
その他 2番	5	3.2%		
その他 3番	54	34.4%		
その他 4番	5	3.2%		
その他 5番	62	39.5%		
空欄	26	16.5%		
17 コミュニケーションで心がけてることは？	回答	104		66.2%
	無回答	53	33.8%	

問2	「非常にある」「どちらかといえばある」を選んだ方に伺います。あなたがコミュニケーションに関心をもつようになったのはなぜですか？
1	結果をつくるためには、メンバーの同意形成が欠かせないと実感しているため
2	子どもを産んで、自分自身の付き合いだけではなく、子どもを通しての社会との関係を持つようになったから
3	地域のボランティアを色々手伝ううち、地域力の必要性を感じました。色々な面でのコミュニケーションが大切だと思います
4	非常に大切なことだから
5	コミュニケーション不足が原因で争いが発生したため
6	関心を持つとか持たないというのではなく、人を知るうえで必要だと思う
7	地域活動を実行してから良い地域には良いコミュニケーションがある
8	もともと自分が人との関わりが大好きなため(部活動の野球が大きく影響している。小学3年から野球を始めた)
9	今、私達が住んでいる社会は効率主義でスピード化され、その速度は人と人との関係をもなくしているの、孤立化が進んできていると思う。コミュニケーションは生きる力を育むと思うのでとっても大切！
10	人間関係を円滑にしたいと感じたため(その方が交友関係も広がるし仕事もはかどるため)
11	日常生活の中で必要だから
12	人は一人では生きられないし、誰かと、何かとかがかわることによって感謝の気持ちや喜びや尊さや成長を感じられると思うから
13	携帯電話が普及して顔を見て直接話すことが少ない
14	活動をスムーズにするためにはコミュニケーションが大切ですが、いくら伝えても正しく伝わっていかないときにどうしたらよいか悩みました。人と話すのが苦手なので余計です
15	最近核家族化が進み、人と人との関わり方が薄くなり、家族間でも携帯電話が主流になり、家の電話の取次ぎも無くなりつつある
16	自分自身、幼少の頃から内気、引込み思案であったため、言いたいことも言えず人の言いなり、誤解等々(-)面が多かった。反面、人の話を聴く(忍耐強い(+))面もあることをもっと伸ばして行けたらと常々考えている
17	自分が人とコミュニケーションを今まで取れなかったのですが、一度人とコミュニケーションを取ったときにコミュニケーションを取るとするのは大切なことだと思い関心を持つようになった
18	生きていくためにも一番大切なことだと思うから
19	自分の考えていることを理解してもらったりするには話し方、聞き方がとても大切だと思った。いろんな人とつながるにはコミュニケーションがとても大切
20	町内の住民同士、仲良くしたいので！！
21	仕事でカウンセリングを学んだため
22	いろいろな話をしたり、聞いたりするのが好きだから
23	子どもを通して
24	就職活動や日々の生活の中で関心を抱いた
25	宇治市の中で高齢化がすすみ65歳以上が21%に達している。また孤立化や引きこもり、買物難民が増加している。地域での人間関係の絆を深めることが肝要
26	どちらかというと卑屈だった自分自身をどうかしようと思ったから
27	人が好き、話が好き
28	仕事上で不可欠である。勿論それ以外でも必要なので
29	お互い様を大切にしたいと思います
30	今日、あらゆることで人間と人間のコミュニケーションが必要と考えた
31	長年、体振・少年野球に関与してきましたが、種々団体はそれぞれ確立していますが、横の関係が非常に希薄であると感じています

32	もともと人が好きだったのですが、就職活動を始めて考えるようになった
33	情報を得たり人と人との和を保ち、楽しく生活したいから
34	コミュニケーションなくして人と人との関係性が成り立つとは思えないため
35	授業でコミュニケーションを学んでから
36	会社での働くうえで、自分の社会における立ち位置を働くようになり、考え出したため
37	苦手な人とも話をできるようにしたかったから
38	人が好きだから。しゃべるのが好きだから
39	より多くの仲間を得るため
40	いろいろなことに興味があるから
41	コミュニケーションがなくては友人や先輩など、いろんな人と会話を楽しむことができないから
42	定年生活で家にいる時間が多くなってから
43	大切だと思ったから
44	いろんな人とどういう風に接するといいかとか、関心を持ったから
45	苦手だから
46	コミュニケーションが大切だと思ったから
47	人と会う時は楽しいほうが良い。良好な人間関係をつくりたいから
48	授業で勉強したから
49	人間関係を築くうえで必要があると思えるから
50	小学校のボランティアなどで子どもと関わるようになってから
51	地域の人との交流
52	人間社会の基盤はコミュニケーションにある
53	人間関係の円滑油だと思います
54	人との関わりを持つうえで大切だと思ったから
55	人間関係の向上
56	職場で接する患者さんをどう理解したらリラックスしてもらい、治療(歯科)の効果を実感してもらおうかと考えたことによると思います
57	人と人のつながり(関係)を密にする手段であり、また、コミュニケーションがないと本当の意味(本心)が分からないと思うから
58	人は社会に生きるものだから
59	人同士の関わりの中で大切だと思ったから
60	自分が楽しいし、人との会話が好きだから
61	色々な方と接して教養を深めたい
62	組織の運営、事業の円滑な推進
63	仕事上、人に接する仕事だから

64	チームプレーの一員としてのクラブ活動
65	初めて会う人と良好な関係を築くために必要だと思ったから
66	何時も自分の思っていることをいかにうまく相手に伝えられているか疑問に感じているため
67	子どもが3人いるので、子どもを通しての親との関わりなどから関心をもつようになった
68	よい人間関係を作るためには、コミュニケーションを上手にとることが必要だと感じたから
69	年齢が高くなるほど必要と思う
70	人とコミュニケーションを上手にとりたいから
71	家族や友達の間でも会話をしてお互いに思っていることを言ってくれないと何を考えているかわからないので
72	実習など人と関わるときに必要性を感じたから
73	仕事が営業だったこと、色々なタイプの方と話をしたい、ボランティア活動を通して
74	人とのつながりが広がるから
75	アルバイトで接客するようになってから
76	仕事上、コミュニケーション能力が必要だから
77	話を直接した方がメールよりも理解が早いから
78	仕事上人と付き合う必要があるため
79	自然に
80	子どもがいなくて先行きに不安感がある
81	介護の仕事をしていてコミュニケーションが大切だと思ったので
82	地域の連携が薄くなってきている。強化するにはコミュニケーションは重要
83	職業的にもコミュニケーションは必要なものである
84	人と話すことが好きだから
85	仕事上
86	人間関係の希薄さ
87	人との会話、世の中の情報収集、コミュニケーションとは人と人との会話が基本
88	職場の運営をスムーズに行うために必要
89	福祉関係の仕事上
90	コミュニケーションを行うことで返ってくる反応を見たり、聞いたりするのが楽しいから
91	コミュニケーションすることが唯一話し相手を知る方法であると痛感している
92	利用者様のことを理解できるひとつの方法だから
93	相手のことをよく知りたいと思ったから
94	趣味などのサークル活動に参加し、サークル運営やイベントでいろいろな人たちと交流するようになったため
95	介護の仕事をするようになってから

96	部下や入居者等との関係づくり
97	情報を得るため
98	社会人になったとき、相手を知る、自分をわかってもらうということにコミュニケーションが必要であると思った
99	勤めていた会社で総務関係の仕事に就いていたので
100	担当ご家族よりクレームをつけられたことから関心を持つようになりました
101	相手を知るには、やはりコミュニケーションをとるのが一番だと思う。特に、お年寄りだとよけいコミュニケーションが必要
102	仕事上での連絡事項等共通認識を持って仕事にあたる
103	他人との意思の確認のため必要だと思う
104	一人よりか、二人以上で過ごす方が楽しいから
105	十人十色の考えを持った方の話をきくことは勉強になります。教わることが多い
106	コミュニケーション不足で人間関係がうまくいかなかったことがあるため
107	仕事において職員間、入居者様と疎通がとれないと物事がスムーズにいかないこともある
108	言語的・非言語的と難しいと感じたから
109	関わりの中で、色々なことを知ることができたり、技法を使って行うことにより、ひき出せたりするおもしろさなどがあるから
110	人間理解の原点と考えている(職業上重要なため)
111	相手の気持ちや考え方が分かり合えるため
112	信頼関係を築けたときの喜びがあるから
113	初対面でもコミュニケーション力を身に付けていれば大丈夫ではないかと思いました。まず、コミュニケーションしない人との関わりが持てないと思いました
114	その人その人の人生を歩んでこられたこと、自分の勉強のため
115	コミュニケーションを上手にとれるかで物事がスムーズに運ぶため
116	対人援助に関して非常に重要な役割を担っているから
117	人が好きだから
118	会話のむずかしさから
119	ものごとがスムーズに進む基本となることだから
120	仕事や地域のつながりで、他者と人間関係を築いていくのに必要だと思いました
121	情報収集・交換、人とのつながり、助け合いなど
122	仕事で涉外、交渉に関する職種になった
123	チームワークが大切な仕事であると感じたから。年上の方と仕事をすることが多いが、自分のコミュニケーションの取り方に不安があるから
124	人間関係を築く基礎になると思うから

問3 その他	
1	とにかく関わる、話す
2	ボランティアサークルに加入
3	大学の講座を選択した
4	人と交わる場にてかける
5	自治会長として非常災害時の高齢者への対応が必要でありネットワークを作りたい
6	地域活動のへ参加(町内会、老人福祉)
7	各種交流会にも参加してきました
8	新聞から
9	大学で講義を受講した
10	新聞・雑誌・テレビなど
11	実体験
12	経験を基に試行錯誤
13	福祉の現場では欠かせないことで自然と身に付いていった
14	先輩方や同僚のコミュニケーションを見て
15	サークルなどの会合に参加する
16	家族に相談した
17	日々色々な方と接する上で身に付くことが多く今でも他の方とのやりとりを見ながら学ぶことが多い
18	意識はしたが、頭で考えるようなことではないと思うので何もしていない。心がけるようにしている

問7 「よくある」「たまにある」を選んだ方に伺います。どのようなときに不快を感じましたか？	
1	ただ話しているだけで相手に伝えようとしていない場面
2	押し付けがましい人に出会ったとき
3	自己中心で他の人との距離を縮めようとしていない方とは会話に進歩がなく、少し不快に思うことがあります
4	自分の意見を一方的に話されるとき
5	人の言ったことの揚げ足を取って批判されたとき。初めから私を批判するためにコミュニケーションに臨んでいる人がいるとき
6	相手との考え方の違いから理解しあう点が見つからなかったとき
7	自己主張が強すぎる人(聞く耳を持たない人) 社会通念からはずれた人
8	自分が望んだ反応が返ってこないとき
9	主張が強い人
10	圧迫を感じさせる会話、トゲのある発言、周囲の気持ちを考えずに発言されたとき
11	相手の方が自分中心で話したり、行動したりされたとき
12	自分のことだけしか考えていない人
13	相手のことを考えず自分中心の考えで話す人
14	人の話しを最後まで聴かず、自分はこうだ！とか、体験談・アドバイスをしたりする人(会話の乗っ取り)。同等の立場なのに上から目線の人、指図する人
15	自己主張が強すぎる人の場合
16	あまり親しくないのになれなれしいとき。対応・態度の悪い人と接しているとき。いじりと称していじめられるとき
17	言葉遣いや話し方に個人差があり受け取り方も違う。言葉は使い方で誤解も生まれる
18	話したことがうまく伝わらずトンチンカンな答えがかえってきたとき。人を傷つけるような発言をしたとき
19	自分勝手な意見やわがままなことを言われたとき
20	人の話を聞こうとしない人と話すとき。相手の意見を認めない人と話すとき
21	感性が合わないとき
22	しゃべり方など
23	気持ちを察しない
24	否定的な対応 断定的な対応
25	あまりにも本音で話をして、相手が他で違う感じで伝えられた
26	自分のことばかり話したり、強要してこられる
27	在宅であるのにポストで事を済まされるとき。縦の繋がりで物事を進めようとしてきたとき
28	相手に対する思いやり
29	特に、長年関与してこられた方や若い方の中にも、ボランティアに参加するに当たって自己主張の強すぎる方が多い
30	人と話しているとき等
31	自分が体調が悪いときに負の感情でもって人と話しがち

32	こっちの話をよく聞いてくれない
33	ウソをつかれたとき
34	一方的なとき
35	普通のことを言っているのに何かムカツク言い方されるときとか
36	自分自身の表現力のなさ
37	相手が自己の話ばかりするとき
38	勉強不足
39	自分の話を聞いてもらえなかったとき
40	一方的に自論を喋りまくる
41	コミュニケーションの取り方がへたな方(話しほうまいが内容が良くない)がいる。そのような人の話を聞くときは不快を感じる
42	あまり触れられたくないことに触れられたとき
43	人によって態度が違う
44	自己主張ばかりして人の話をあまり聞かない
45	友人や知人の中傷・誹謗、よくないうわさ話等
46	無愛想な人と接するとき
47	初対面なのにプライベートなことをたくさん聞かれたりしたとき
48	相手が無愛想であまり話してくれないとき
49	自分の考えを押し付けてその他は認めないとき
50	自分の意見等を一方的に話す方
51	自分のことしか考えていないとき
52	自己中心的な態度を取られたとき
53	人のことを聞かないタイプの人
54	自分が一人でゆっくりすごしたいときに、その様子を察してくれず話しかけてこられたとき。人の悪口を聞いたとき
55	こちらが理解できないうちに話をやめた
56	相手の気持ちを考えないような物言い
57	一方的な主張をするとき
58	相手と十分に意思疎通が図れなかったとき、意見に対する理解が得られないとき
59	通常の会話又は障害を持つ方との会話
60	通じてないと思ったとき
61	自己中心的な発言をする人と話すとき
62	名前ではなく「自分」「あんた」と言われたとき
63	自分の話ばかりして、相手の話を聞かない

64	自分だけの考えや知識に偏り、他人の考え方に対して柔軟なモノの見方ができないときなど
65	部下からの不満
66	意見が合わないとき
67	自分のことばかり話して、全くこちら側の話を聞いてもらえなかった
68	気持ちが伝わらない
69	自分の意見だけを押し付けられたとき、仲間に入ろうとしない人がいるとき
70	傷つく言葉を言われたとき
71	私が私だと自分を主張されることが多く、聞く態度ではない
72	余計なことばを使ってしまったこと
73	初対面なのに個人的なこと(年齢・仕事・既婚か未婚か等)を聞かれたとき
74	不足を言う人
75	無視される。嫌なこと、キズつけるようなことを言われる(一方的に)
76	常識的な言葉遣い(上下関係・公私の別などTPOをわきまえた)
77	不機嫌な顔をして一方的にまくしたてるように喋られたとき(威圧的)、自分の意見だけをのべる方
78	自分が話をしているときに、平気で話に割り込んでこられたとき
79	口調がきつかったり、表情が硬かったり、言葉が思うようにかえってこなかったりしたとき
80	相手の気持ちや思いを無視して入り込んでこられるとき、また、距離を考えずに行われるもの
81	相手があまりコミュニケーションを取ろうとしない。返事の後には会話が続かないような返しかたをする
82	自分のコンプレックスを指摘されたとき
83	プライバシーの侵害やデリカシーのない言動を、信頼関係を築けていない相手にされたとき。無関心な反応
84	覚えていません。お互い様で忘れるようにしている
85	相手の気持ちを考えず発言されると不快に感じます
86	会話のキャッチボールがうまくいかないとき
87	憶測でものを言われたとき
88	私の話をあまり聞いてくれない。無関心そうにふるまわれたとき。自分の話ばかりされる
89	話方、接触の仕方
90	相手の立場や気持ちを慮ることのできない人とのコミュニケーション
91	一方的に否定されたとき(間違っただけをやってしまったことはこちらが悪いがなぜ、そうしたか理由をきいてもらえなかったとき)
92	相手から一方的なモノで自分の思いがくみ取られなかったとき

問10 その他	
1	保身に回って人と関わらない機会が多い
2	勘違いなど
3	相手の話題に自分の知識がない場合
4	相手の反応を気にしすぎるから
5	利害が対立する人がいて攻撃の口実をねらっているから
6	相手の悩みが重すぎて自分では支えきれないこともある。逃げ出したくなる
7	センスの違いだと考えてしまう
8	価値観や性格の違い
9	相手のことを気遣いすぎて億劫になる
10	友達等親しい関係とそうでない関係を分けているから
11	人間関係はまずまずですが、ボランティア団体となるとむずかしいです
12	お互いを理解するまで到達していないから
13	性格のちがい
14	考え方のちがい
15	考え方や理解のちがい
16	話しの内容が良くない
17	価値観の相違
18	何を話題にすればいいのかわからない
19	自分中心に物事を考えてると対立することが多い
20	意見の相違
21	お互いの歩みより方など
22	相手の態度が自己主張のみで折り合いをつけようという意思がない
23	自分に自信がない
24	人が育つ過程のうえでの社会性の形成が幼少期から不完全(社会性が育っていない)
25	伝え方、受け止め方の問題
26	何度か嫌な思いをすると自ら壁を作ってしまう
27	予想できないことについて咄嗟に返事ができない
28	年齢差？
29	物事や言葉の定義に差異がある

問11 日頃の雑談が物事を円滑に進める上で役に立ったことはありますか？あれば具体的に書いてください。	
1	苦手な人や局面ほど時間をかけようと試みること
2	人と、とにかく色々なことを話す中で、良し悪しに関わらず、まずは話してみることを心がけている
3	多くの人と接することで、その方々からの情報を得て、次にまた他の方との会話の中で役立ちます。たくさんの「引き出し」を用意できました
4	幅広い知識が幅広い分野の方との交流に役に立った
5	地域の方の健康情報や慶弔情報で役に立ったことが度々あります
6	とにかく相手の話を「聴く」ということ
7	サークルの中でもよく話す人とは自然に冗談も云えるようになるし、本音で話せるようになる
8	初対面の人との会話の中に、日頃の雑談を入れることができる
9	多様な内容が役に立つときがある
10	雑談からその人の気持ちが分かってくる
11	相手が話しやすい雰囲気にしてあげる。相手の話に合わせて乗ってあげる(自分がしんどくならない程度に)
12	皆の話を聞いてそれについて対応して行動する
13	日頃、雑談できる人とは円滑な会話ができる
14	雑談の中で個人の考え方に気付いたり等で対処方法を考える
15	家族構成やテレビの話等をする事によって、考え方や嗜好がわかる
16	雑談のなかで、その人の考え方、物の見方がわかり、自分なりに相手に答えをだす場合の判断ができる
17	相手の話を聞く
18	雑談のなかでいろいろなことがわかってくる
19	意味をなさない会話は無い。雑談であっても、そこから相手のことがわかるし、特別記憶に残るようなことはないが、役立っていると思う。強く意識していないだけ
20	雑談が一つのコミュニケーションのツールとして認識している
21	地域力を高めるために「雑談」や「おしゃべり会」は大切です。例)おまつりの花笠づくりに多くの人が集まりおしゃべりをしながら作り上げた
22	雑学から専門的なことまでの知識(意識して身につける努力を心掛けている) 自身の生きざま、経験
23	雑談は全てコミュニケーション
24	相手の立場、人となりが判りスムーズに行く
25	相手が興味あること、得意な事柄から話をつなげていくと本題に入っていきやすい
26	会社の昼食時、様々な人と話すことで仕事が円滑にやすくなった
27	何事にも関心を持つこと、興味を持つこと
28	情報を知る、会話に変化
29	相手の趣味や思考がわかる
30	まず相手の話を聞く
31	誠意で事に臨む

32	他所、他者の実例を雑談風に紹介する
33	家族との関わりを聴くことで相手の人となりを知り親しみが持てたり、信頼できたりする
34	立ち話や喫煙所でのコミュニケーションは公の会議等では知りえないことまで知ることができる。そのような情報も色々な意味で必要
35	悪質な訪問販売等のときに、互いに情報を共有し、ことなきを得た
36	テレビ、ラジオ、新聞、本から情報を得る
37	共通の話題、趣味について会話を始める
38	人手のたりない地域でのイベントを手伝っていただいた
39	相手の気持ちを考える。相手のいい所を探して相手に伝える。相手をほめる
40	情報を集めるときなど
41	人の意見を聞いてから話す
42	食事中の会話
43	カラオケ仲間
44	職業柄、介護方法が統一されている方がよいので、雑談の中でケア方法などを話し、意見交換をすることでケアの統一が図れた
45	好みや都合がわかった
46	お互いの理解が深まる
47	人と人との会話
48	雑談を通じて、相手の考え方や近況が分かり、人間関係を築く手がかりとなる
49	TVで知ったことを話す
50	同業種の友人からの介護方法(移乗、排泄、コミュニケーション)
51	基本の挨拶。挨拶は立派なコミュニケーションの一つ。挨拶することによって相手との距離も縮まる
52	雑談の中から話題が広がり、同じ内容が好きだったりして、そこからコミュニケーションがとりやすくなる
53	地域活動をお手伝いするなか
54	趣味の話で同じ趣味を持っている人と、うまくしゃべれるようになった
55	何げなく挨拶を交わし、それから会話に発展したとき
56	よいことを聞いたら参考にして話してあげる
57	会話がきっかけで手助けしてもらえることがある
58	業務上、連携・協力したい時でも前置きがいらず、スムーズ
59	その人がそういった思考を持っているかを判断できる
60	雑談の中で趣味があったり、興味があったりでその後のコミュニケーションがうまくいくことがある
61	人の話を良く聞く。その人の立場を理解するように心がけている
62	雑談でも相手の気持ちや考えていることへの理解が深まり信頼関係を作ることができる
63	信頼感が増える。相手との距離が縮まり助け合えるようになる。具体的にはわかりません

64	相手を少しほめたり、相手の好きな話題を投げかける
65	雑談のなかから相手の人となりがわかったり、意外な部分を発見し理解が深まったり仕事に役立ったことがある
66	相手の物事の考え方を知る機会となった、相手の置かれている状況がわかった

問17 コミュニケーションを図るために心がけていることがあれば書いてください。	
1	思い込みや概念で判断しないように冷静に聴くこと
2	自分に合わないと思う人でもまずは話してみる
3	相手の話を一度じっくり自分の中で噛み締めてみて、理解しようと試みてみる。それから自分の意見をいう
4	相手の言われることを否定せず聞かせてもらうようにしています
5	できるだけ前向きな話を多くする
6	11番に記載しましたがまず相手の話を「聴く」ということ、それが大前提
7	できるだけ相手の話をきちんと聞こうとする
8	常に笑顔で挨拶する
9	相手の話を聞くように心がける
10	挨拶。笑顔。相手の話をきくこと
11	お互い顔を見て話し合える場と機会をつくる
12	人の話をよく聞く、聞いたことは一度心に入れてから話す。相手が喜んでもらえるように心がける。仲良くする
13	人の話を聴く。共感してあげて自分の気持ちに無理をしないで楽しむ。常に笑顔でいられるように！！
14	心がけていることはありません。ただ、人と人とのつながりが大事だということを痛感しています
15	どんなに小さなことでも人に相談する。人と話す場をつくる
16	話し方。表情
17	人の話すことをよく聞く。自分自身をしっかりもっている。楽しく明るく話すようにする
18	人の話をよく聞く。カウンセリングマインド
19	相手のことを考える。ある程度整理してから話す。メールで話にズレが生じていると感じたら直接電話で意思を確かめ合う
20	もめないようにしている
21	雑談などの何気ない会話をすること
22	話し上手は、聞き上手といえます。特に1人暮らしの高齢者にたいしては、聞き上手になりたい
23	公開講座から私的な集まりまで、参加が可能な場所への参加
24	話し手の思いや考えをくみとるようにしているつもりですが
25	まずは、相手のことをよく知ることから始めるようにしている
26	相手との共通点を見出すことに気を使います。相手の立場になること
27	話すよりも、とにかく聞くことに重点を置いている
28	まず、聞いて相手が何を伝えたいのかに注意すること。次に相手にはどのように表現すれば当方の意見、気持ちが正しく伝えられるのか考えています。ですから、電話でのやりとりには気を使います
29	会話をし相手の良い所を見つける。色んなことに興味を持ち話題を多く持つ
30	まず、相手の良いところを見つけ、興味を持つ
31	私が属するコミュニティの倫理や共通を意識し、それを背景にしてコミュニケーションすること

32	話をよくきく
33	聞き上手
34	相手の話をよく聞く。自分の考えを解りやすく相手に伝える
35	何事にも関心を持ち、興味を持つこと。趣味を多く持つこと
36	挨拶、情報(色々)提供、興味を持つ(色々)
37	相手の立場になって考える
38	情熱を持ってことに接する
39	話す機会をつくる
40	先ず人の話をよく聞くこと
41	否定や問題提起、指摘をできるだけせず、相手の状態を受け入れることを理想にしています
42	相手の身になり自分が言いたいことを伝え、また相手を引きつけられるコミュニケーションができればと思う
43	人を思いやる心を常に持ってコミュニケーションをとること
44	ウォーキングの際に知らない人にでも挨拶をして雑談するようにしています
45	自分から積極的に話しかけ、また聞いてあげる
46	タイミングを図りながら早目の情報開示
47	まずは挨拶から。次の機会に話すきっかけになると思う
48	人の話を内容を理解できるかどうか！
49	積極的に地域行事、各種ボランティアに参加すること
50	相手の長所を探す。悪い所を追求するより、いい所を見つけることで、信頼関係がきずける。ほめるのがいいとわかっていてもなかなかできないのが現実だったので、1日1回子ども達を1人ずつほめるように心がけています
51	積極的に参加する
52	人の話をよく聞く、笑顔で話す
53	誰とでも話しができること
54	相手の様子(反応)も見ながら
55	笑顔
56	正直に話し合う
57	メールする
58	挨拶！
59	目を見て話す
60	理解するまで何度でも

61	笑顔を忘れないこと
62	話し方、聞き方、表情、言動など色々なことが組み合わさってコミュニケーションになると思うので、場面、内容にあった表情などをするように心がけています
63	場の雰囲気を読む。相手の様子を見てから合った対応を考えてから行う。表情など
64	相手のことを考えて言葉を選んだりする
65	人を信じること
66	挨拶が重要、全てはここからはじまる
67	笑顔
68	気心を知れている人には相手の方の性格を考えたりして、相手を傷つけるような言葉かけは行わない
69	できるだけあらゆる機会に出席する
70	人の話を良く聞くよう心がけている
71	相手の話は最後まで聞き否定しない
72	挨拶をする。相手の話をよく聞く。自分が伝えたいことをわかりやすくし、理解してもらう
73	固定観念にとらわれず、その人それぞれの考え方など理解する。公平に意見を聞き、認めたくえでコミュニケーションをさらに図る
74	自分の方から話しかけるように心がけている。笑顔で話を聞いたり話したりする
75	なるべく話しかけるように意識している
76	自分の都合ではなく、相手の状況を見て、話し方や何を聞いて欲しいか、何を知りたいか等々、相手の方に自分が無理のない程度に合わせたりしている
77	挨拶をする
78	自身の体調管理、精神安定を心がける、相手の目線に立ち、会話し、傾聴するように心がけている
79	傾聴する。自分が自分がに気を付ける
80	自分から話しかける
81	話を充分聞いてから意見を言う
82	苦手な人に対してもふつうに接するように心がけている
83	相手が理解しやすく、気分を害さない表現などを心がける
84	自分が話しかけるときには相手がことわっても良い状態をまず作り、話を進める。自分の立場を考えながら話をするよう心がけている
85	聞き手がどうとらえているかを考える。逆もしかり
86	聞く耳を持ち受け入れる心を持ち笑顔で相手が話しやすいと感じられる雰囲気を自分の中で育てている、努力している
87	相手の立場や気持ちを考える
88	常に笑顔で対応する
89	笑顔、誠実、謙虚

90	相手の話を良く聞くように心がけている
91	相手の話をさえぎらないように聞く。意見を押し付けない
92	挨拶
93	コミュニケーションをとっている、その状態が好きだなー幸せだなーと大事に思う
94	自分が言われて不愉快なことは言わない。相手の目をみて話す。相手のことを一旦自分の中に含んでから答える
95	相手にわかりやすく話す(書く)。表情や身ぶりを気にする
96	相手の美点を見て欠点はあまり見ないようにする
97	苦手な人ほど自分から関わる(挨拶など)相手の良いところを一つでも見つけその部分を相手に伝える。行き詰ったら冷静になにが原因か考えてみる
98	目を見てコミュニケーションをとる、内容の重要性によっては時と場所を考える

第4期 宇治市生涯学習審議会 会議開催経過

	開催日	内容
第1回審議会	平成21年6月8日	・委嘱状交付 ・今期の審議事項について協議
第2回審議会	平成21年8月20日	・今期の審議事項について協議
第3回審議会	平成21年10月19日	・今期の審議事項について協議
第4回審議会	平成21年12月14日	・今期の審議事項について協議
第5回審議会	平成22年2月19日	・今期の審議事項について協議
第6回審議会	平成22年4月20日	・今期の審議事項について協議
第7回審議会	平成22年6月24日	・アンケート調査について協議
第8回審議会	平成22年8月24日	・「聞く」ことについて協議
第9回審議会	平成22年10月20日	・アンケート調査について協議
第10回審議会	平成22年12月17日	・アンケート調査について協議
～ 委員によるアンケート調査実施～		
第11回審議会	平成23年2月22日	・アンケート結果について協議 ・報告書について協議
第12回審議会	平成23年4月18日	・報告書について協議

第4期 宇治市生涯学習審議会 委員名簿

委員 長	森川 知史		
委員長職務代理	杉本 厚夫		
委 員	奥西 隆三	門脇 洋子	迫 きよみ
	向山 ひろ子	弓指 義弘	渡辺 孝明
	坂田 耕作	清水 桂子	竹之下 典祥
	原 保彦	古川 彩	俣野 良子
	吉田 隆	六嶋 由美子	
任 期	平成21年6月1日から平成23年5月31日まで		